



ゆあメインだより

第34号 2020年9月発行

8・9月に於ける活動の様子



今年の夏は熱中症とコロナ・ウイルスのダブル対策が必須でした。そのため、楽しみにしていた夏祭りや花火大会といった夏ならではのイベントが全国各地で中止になってしまいました。長雨や大型台風の直撃など、天候不順による日照不足により、野菜の成長が悪く、値段が高騰する夏でもありました。そんな中、ゆあメインで作った無農薬野菜は形やサイズは悪くても、結構、近所のお客さんから買っていただきました。有難うございます。

【新型コロナ対策の継続と熱中症対策】



感染予防のために、できること。

この夏は、想像以上に長引くコロナ対策に加え、熱中症にも気を付けなければならぬ、ストレスが溜まるばかりでしたが、利用者さんたちは元気に通っています。しかし、常時マスク着用、三密、そして毎日の検温やソーシャル・ディスタンスを意識して活動していますが、徐々に慣れが出てきており、ついつい忘れてしまう利用者さんもいます。活動自体がストップしてしまっている会社や組織と比べると、ゆあメインのように活動が出来るだけでも有難いと思えます。まだまだ我慢が必要で、コロナの終息に向け、辛抱強く継続した努力が求められますね。

【ゆあメインの畑の様子】



長雨が続けていたため、ゆあメインが借りている市民農園は多くの区画で手入れが出来ず、草ぼうぼうの状態になって居ました。雑草を取ってもとつても、次から次へと生えてきて手入れが追いつきません。それでも、時間を見つけ手入れの段取りを検討している間に、季節は稲穂が垂れ稲刈り時期になっていました。農時期では、秋大根やこかぶ、ほうれん草などの種まきの時期になっており、準備が間に合わず少し遅れ気味なことが心配です！



【 詩 】 ～利用者支援の傍らで～

うえ 渴いた君の心に

わが祈りが
やまびこのように
わがたましいに戻る
たくさんの神の御声とともに
戻ってほしい

わが祈りが
やまびこのように
わがたましいに戻る
沢山の神の御言葉を込めて
戻ってほしい

真夏の炎天下で流す
農夫の汗は
私が学ぶべき忍耐の時間

日陰を一人で楽しむより
君の心に
小さな日陰となり

うえ 渴きを一人で満たすより
渴いた君の心に
命の水となり

私が死んで君が生きる
小さなキリストになりますように

2020. 9
理事兼職員 金熙淑



【 10、11月の予定】

- 10月19日(月) : 午前日課(午後職員会議)
- 11月03日(火) : 祝日(文化の日)
- 11月16日(月) : 午前日課(午後職員会議)
- 11月23日(月) : 祝日(勤労感謝の日)

